

■新しい体系(案)

分野別の目標/基本的な方向	分科会での主なご意見	現行計画との対照	既存の事業	事業につながるご意見等
1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり				
(1)文化芸術への興味や知識を高める	○体験型の企画や入門講座を充実させる ○文化芸術のイベント(特徴的なもの、大々的に実施する) ○若者が参加する工夫 ○海外友好都市との文化交流 ○他分野とのコラボレーション	新規	・シビックホールでの各種企画 例) 文化祭、各種つどい サマーフェスタ for KIDS シエナ・ウィンドオーケストラ など ・小中学生のための出前コンサート ・文の京コミュニティコンサート ・「文の京文化発信プロジェクト」	・区全体(シビックセンターや各施設、街角、古い建物など)を舞台にした芸術祭を毎年、特定の時期に開催する(例:ラ・フォルジュルネ(フランス発のクラシック音楽の祭典。東京国際フォーラムで開催)) ・子どもが文化芸術に触れる事業 ・若者が参加できる事業
(2)だれもが参加しやすい仕組みづくり	○子ども、高齢者、障害者、来訪者、外国人などへの対応 ○共通で対応できること、個別に対応すべきことに留意する	1-(4)	・シビックホールでの各種企画 ・小中学生のための出前コンサート ・文の京コミュニティコンサート ・ミュージックフェスタ ・文化発信 ・小中学生のための歴史教室(森鷗外記念館) ・子ども俳句大会	・ノーマライゼーションへの理解の促進(文化に関するバリアフリーマップの作成や、障害者も参加できるイベントの開催など) ・文化イベント開催時に、区民が参加できる仕掛け(地元の店舗なども関わりを持つ)
(3)多様な主体・媒体を活用した情報発信の仕組みづくり	○多様な主体が関わる情報の収集 ○多様な媒体を活用した情報発信 ○区民による草の根的な発信の仕組みづくり	2-(1) 2-(2)	・公式サイトでの情報発信 ・区報、スクエア ・Twitter ・ふるさと歴史館だより	・区民のロコミ(自主的な発信)の活用、個人が発信しているブログなどをつなぎ合わせる仕組み ・障害者を含め、誰にも伝わる情報発信 ・区外、全国に向けた情報発信
2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援				
(1)鑑賞・参加・創造・発表の機会と場所の充実	○鑑賞の質を高める学習や体験機会の創出 ○施設利用の利便性向上 ○発表機会の拡充 ○小中学生の活動、若者の活動支援 ○身近な施設の活用 ○参加しやすいプログラム、アウトリーチ	1-(1)、(2)	・「文の京文化発信プロジェクト」 ・鼓童文化交流 ・演劇グループ「ザ・シビック」講習会及び公演 ・区民参加オペラ講習会及び公演 ・シエナ de アンコン! ・b-lab MUSIC/b-lab DANCE ・朗読コンテスト ・文化祭、各種つどい ・アートウォールシビック	・参加者の能動性が高い事業 ・鑑賞の質の向上のための学習の機会 ・区独自の文化の創造と発信 ・区民の興味を高め、鑑賞につなげるための参加型ワークショップの企画、実施 ・鑑賞に来た人が創作などを体験できる機会の創出
(2)文化芸術活動をする人・団体への支援	○指導者・コーディネーターの派遣 ○団体間の交流・情報交換 ○総合相談窓口の設置活用	2-(3) 3-(1)・(2)	・シエナ de アン・コン! ・社会教育登録団体制度 ・楽器演奏指導	・生涯学習サークル、社会教育登録団体との連携
(3)区民人材の育成と活動支援	○人材育成、人材バンクの活用 ○区民プロデュースの推進 ○成果の還元 ○大学との連携	3-(3)・(4)	・区民参加オペラ講習会及び公演 ・b-lab MUSIC/b-lab DANCE ・ふるさと歴史館友の会 ・解説ボランティア(ふるさと歴史館・森鷗外記念館) ・シビックコンサート ・カレッジコンサート ・地域文化インタープリター	・プロデュース能力のある人の育成・登用 ・区民登用の仕組みづくり ・人材を登用するための区財源以外からの資金調達方法の検討
3. 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり				
(1)地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の充実	○歴史的地名・場所、文化財の活用 ○ガイドボランティア、まちあるき観光との連携	3-(5)	・「文の京文化発信プロジェクト」 ・史跡めぐり ・「文の京」ゆかりの文化人顕彰事業 ・ふるさと歴史館・森鷗外記念館各種事業	・まちあるき観光との連携 ・まちなかで行うイベントと連携したまちあるきの展開 ・文化資源が集まっている場所の環境整備
(2)「文の京」の文化を守り、伝える人材の育成と活動支援	○伝統文化に関わる人材の発掘、認定	3-(3)・(4)	・地域文化インタープリター ・ふるさと歴史館友の会 ・技能意匠認定事業	・地域文化インタープリターを文京区ブランドとしてPR
(3)文化資源の再発見と保存・活用の推進	○地域資源の発掘と収集、保存の推進、アーカイブ	3-(5)	・企画展 ・映像資料調査・保存事業 ・区史編さん事業 ・文化財指定事業 ・旧伊勢屋質店の活用 ・フィルムライブラリー	・観光写真コンクールなど他分野の情報の活用
(4)文化資源に関する情報収集・整理と発信	○区の特徴に関する情報収集(大学、医療、坂道、文豪、銭湯、建築物、江戸文化、能など…) ○区の特徴(ナンバーワン)のPR	2-(1) 2-(2)	・ミュージックネット ・文京区ゆかりの芸術家の活動紹介 ・ふるさと歴史館・森鷗外記念館	・観光情報発信と連携した発信